

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	食生活改善事業		担当部署	健康福祉部 健康政策課	
総合計画体系			根拠法令計画など	食育基本法、健康増進法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="17"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	1	健康増進計画「健康なると21」の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	生活習慣の改善や食育の推進を図るため、食生活改善推進員(ヘルスマイト)の養成や育成、食育推進事業を実施する。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	平成25年度に引き続き事業を実施する。食のワークショップでは、成人を対象とした事業を展開する。「健康なると21(第二次)」計画と整合性を持たせながら、生活習慣病予防のための食の取り組みについて充実を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		ヘルスマイトの人数	30	30	30	30	30	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	食のワークショップ事業として、前年度に引き続き成人を対象に「れんこん」をテーマとした体験学習を実施した。 ヘルスマイトが地域で行う「親子の食育教室の開催」「野菜摂取量アップ推進活動」「生活習慣病予防教室」などの活動支援を行い、ヘルスマイトとともに食育の推進を図った。							
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
活動指標	実施した事業の活動量を示す指標	1	ヘルスマイトの地域での活動回数	10	11	10	10	10	回
		2	ヘルスマイトの人数	39	32	30	30	30	人
成果指標	対象にどのような効果があつたか示す指標	ヘルスマイトの人数		39	32	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)			106.7	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり				

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	0	0	0	20	93	113
		全体予算額	0	0	0	20	93	113
		決算額	0	0	0	20	93	113
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)	総人件費		総事業費		
	0.7		4,815		4,928			

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	122	113	159	159	159
	うち一般財源	21	93	139	139	139
	人件費	4,562	4,815	4,815	4,815	4,815
	総事業費	4,684	4,928	4,974	4,974	4,974

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		ヘルスマイトの活動の範囲が子どもから成人まで幅広い年代層への食育活動を実施している点では食育の推進という点から有効性が高いと考える。
	効率性	B:概ね効率的だった		事業毎に担当するヘルスマイトを分けるなどの工夫をすることによって、一人一人の負担が少ない状態での活動に繋がっている。
②成果に対する評価	指標名	ヘルスマイトの人数		平成25年度に比べてヘルスマイトの数は減少しているが、目標人数の達成はできていることから目標達成とした。
	目標	30	人	
	実績	32	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		ヘルスマイトの活動回数、目標人員ともに達成できており、また活動の範囲や対象者も徐々に広がりとつあることから、A評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ヘルスマイトの養成にあたっては、男性の参加者を募るとともに、若い世代の方の関心を引き出し、ヘルスマイトとして活動をしてもらえるような工夫が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	実際に活動できるヘルスマイトの人数が減少する傾向にあることや地域的に偏りがあること、新たに男性がヘルスマイトとして活動可能となったことなどを踏まえて、ヘルスマイトの養成講座を実施する。			
	H28年度	新たに養成したヘルスマイトを含めて、育成研修に取り組むとともに、ヘルスマイトの活動の範囲を拡大していけるように支援を行う。			